朝鮮戦争と自衛隊の設置

法則化中学／紫音　田中繁一（E-mail:shige-ichigo-ichie@ebony.plala.or.jp）

東アジアの地図を示す。
朝鮮半島を指差す。

発問１「第二次世界大戦後、朝鮮半島には２つの国が成立していました。何という国ですか。」

北朝鮮、韓国

発問２「北朝鮮はどこの国の支援を受けていましたか。」

ソ連

発問３「韓国はどこの国の支援を受けていましたか。」

アメリカ

発問４「アメリカとソ連の対立を何といいますか。」

冷戦

説明１「朝鮮半島は、冷戦の最前線でした。」

説明２「1950 年１月、アメリカ国務長官アチソンは、『これ以上はアメリカは引かない』という、いわゆるアチソン＝ラインの設定を宣言します。」

東アジアの地図を再度示す。
アチソン＝ラインをひく。

発問５「アメリカ側なのに、ここに含まれていない国はどこですか。」

説明３「北朝鮮のリーダー・金日成はこの機会を逃しませんでした。ソ連の援助を得て、韓国に侵入します。」

発問６「こうして始まった戦争を何といいますか。教科書から読み取り、ノートに書きなさい。」

朝鮮戦争

説明４「北朝鮮の軍は、半年もたたないうちに朝鮮半島の大部分を占領しました。」

発問７「これに対して、アメリカはどんな対応をとりましたか。」

二択・挙手で問う。
韓国を見捨てなかった。

説明５「アメリカ国務長官・アチソン。『この挑戦から引き下がることは、挑戦に応えうる我々の能力の点から考えても、合衆国の威信と力を損なうことになる。』こうして、アメリカは韓国に援軍を送ることを決定します。」

世界地図を出す。

発問８「しかし、アメリカ軍の派遣には致命的な問題がありました。何ですか。ノートに書きなさい。」

遠すぎて間に合わない。
東アジアの地図を再度示す。

発問９「ですが、朝鮮半島のすぐそばに大規模なアメリカ軍がいました。どこですか。」

日本

説明６「こうして、マッカーサーを大将としたアメリカ軍が、朝鮮に派遣されます。」

発問 10「その一方で、問題が発生しました。この段階で、日本に軍隊はいますか。」

いない。
日本国憲法９条２項を提示する。

指示１「全員で読みましょう。」

陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。

説明７「日本を守る軍隊がいなくなってしまったのです。そこで、次にアメリカ国務長官となったダレスは、日本に再軍備を要求します。」

発問 11「首相・吉田茂。彼は、再軍備に賛成しましたか、反対しましたか。」

二択・挙手で問う。
反対

説明８「吉田茂は、国会の答弁でも戦争はしない、軍隊は持たないと宣言していました。でも、ダレスは強硬に再軍備をせまります。」

発問 12「吉田は、再軍備に賛成しましたか、反対しましたか。」

三択・挙手で問う。
①大規模な再軍備に賛成した。／②少しだけ、戦力を置くことを認めた。／③あくまでも反対した。
正解は②
日本国憲法９条２項を再度提示する。
前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。

説明９「戦争しない程度の軍隊ならば作ってもいい、と吉田は考えました。そしてダレスもこれに同意したのです。こうして、警察予備隊が作られました。」

「警察」予備隊と言い、軍隊という言葉にしなかったことを、エピソードとして付け加えてもよい。

発問 13「この警察予備隊は、現在の何ですか。教科書から読み取り、ノートに書きなさい。」

自衛隊

説明 10「一方、朝鮮戦争は、結局、元のラインに戻って休戦しました。その中で、多数の人々が犠牲になり、離れ離れになりました。この状態は、今も続いています。」